

公安委員会の開催概要

公安委員会は、令和5年2月2日（木）に開催された。

1 決裁事項

- ・風俗環境保全協議会の委員委嘱について
- ・国際テロリスト財産凍結法の施行等について

2 報告事項

(1) 令和4年度秋田県警察官採用試験実施状況について

県警察から、令和4年度秋田県警察官採用試験実施状況に関する報告があった。

令和4年度警察官採用試験の実施状況は、受験者数258人、競争倍率2.9倍、最終合格者数89人であった。令和5年度採用試験に向けて、県外活動の更なる強化、各種説明会の継続的な開催、ウェブ上の公告や動画配信による更に充実した情報発信を推進していくとのことであった。

委員から、「県外への受験会場設置は効果的だと思う。」との発言があった。

(2) 令和4年中の遺失物・拾得物取扱状況について

県警察から、令和4年中の遺失物・拾得物取扱状況に関する報告があった。

遺失届の受理件数は1万8,270件で、このうち現金の届出総額は1億3,114万4,146円、物品は5万7,515点である。また、拾得届の受理件数は10万4,863件で、このうち現金の届出総額は9,490万1,850円、物品は13万5,916点である。

拾得の届出のあったもののうち、遺失者に返還された件数は1万1,106件であるとのことであった。

委員から、「現金、物品とも、かなりの数量を保管管理するのは大変だろうから、注意していただきたい。」との発言があった。

(3) 令和4年中の児童虐待取扱状況について(暫定値)

県警察から、令和4年中の児童虐待取扱状況に関する報告があった。

児童虐待事案として認知し、対応した件数は305件と、前年より5件減少した。また、児童相談所に通告した児童数は301人と、前年より43人減少したとのことであった。

委員から、「児童の心に深い傷を残す事案であるから、周囲の大人が早く気付いてやるのが大事だと思う。」「警察職員に、児童への配慮、対応要領について指導していただきたい。」との発言があった。

(4) 令和4年中の犯罪情勢及び抑止対策について

県警察から、令和4年中の犯罪情勢及び抑止対策に関する報告があった。

刑法犯の認知件数は1,871件、検挙件数は1,265件、検挙人員は861人と、前年よりいずれも減少した。検挙率は67.6%と、前年より低下した。

抑止対策として、「特殊詐欺」「住宅対象侵入窃盗」を令和5年の重点犯罪に選定し、対策を推進しているとのことであった。

委員から、「特殊詐欺被害が増加している。検挙に向けて捜査していただきたい。」
「住宅の無施錠率を下げるため、警察から声掛けしていただきたい。」との発言があった。